20年度第1回理事会抄録

日時：20２０年4月27日（月）13：00～15:30　於　テレビ会議

|  |  |
| --- | --- |
| 出席者： | 能化大使 |
| (敬称略) | 押谷、湯朝、鈴木（克）、尾崎、鈴木（光）、山下、蔦林、北川、志摩、神場、樋口、藤川（記） |
|  |  |

1. **第一回理事会にあたり**

能化大使ご挨拶

昨年度の理事会メンバーの尽力に感謝すると共に、新体制でも協力していきたい。

大使館としては、在留邦人の保護が最大のミッション。先日の臨時便もその活動の一つで日本人会、大使館の連携で成功裏に終わった。頑張りに感謝したい。

今後のコロナ情勢はエジプト政府関係者の発言を見ていると、秋頃より徐々に回復に向かうのではという見方も第一シナリオとしてある一方、ワクチンができるまではしばらくは現在の状況が続くのではという見方や、第二波～第三波がくるのではといった見方もあり状況を注視中。

エジプトは中東他地域と比べ、最も感染拡大防止に健闘している国の一つ。邦人以外の当地長期滞在者は退避せず留まっている方も多い。外務省危険レベルが引き上げになった事もあるので当然だが、できる限り早く企業の方々に戻っていただいて、活動を行っていただきたい。その為に大使館一同引き続き努力する。

1. **各部報告**

総務部

1. 事務所火災・盗難保険の更新

5月30日で2019年度の保険が満期となる。昨年度と同条件で保険の更新をしたい。

→異議なし。

広報部

1. 「パピルス７・８月号」発行について

パピルス5,6月号準備中、5月中旬にはアップロード予定。

それ以降について。編集部員ほとんどが一時帰国中であり、内部で協議結果、7,8月号は休刊の上、今後も状況を踏まえ、判断という意見が多かった。　よって、取り急ぎ7,8月号は休刊としたい。

→異議なし。

会計部

1. 2020年度会費の徴収時期等について

例年であればこの時期から会費徴収すべきだが、コロナ状況鑑み、物理的に回収は困難。

徴収は状況落ち着いたのちとしたい。尚キャッシュフロー的には半年程度は未回収でも問題

ない。

　　　→異議なし。会員への説明方法、内容は総務理事と相談の事。

2.. 前年度法人会費未払いの企業への対応…日本人会から問い合わせに対し、当該企業の返

答なし。押谷会長の協力を得て当時の代表者へコンタクトを図る。

学校運営委員会

鈴木副会長

▽第１回、第２回運営委員会の協議概略（昨年度の学校決算、今年度の予算と校納金につ

いて等）

* 既に2回運営委員会開催。通常は月1回。

蔦林校長から

▽在校生、一時帰国の児童・生徒の状況

4月1日：30名（在カイロ13名、日本一時帰国17名）

4月27日：在カイロ9名、日本一時帰国21名

▽オンライン授業の進ちょく、新学期体制

4月13日にオンライン(zoom)で始業式実施。（29名参加）。

翌日よりオンライン(zoom) 授業開始。（9-12時＠エジプト、16時～19時＠日本）　学年に

合わせ最大三コマ/日、1コマあたり40分授業。

渉外部

1. NGO総会に関する進捗

NGO改正法の実施細則について、まだエジプト国会から承認を受けられておらず、そのため総会が開けず、役員の改選も行えない状況が続いており、従って各種手続きも行えない状況。

一方、実施可能な業務は会計理事、旧渉外理事らと協力して進めている。

行事部

1. 春季ラムセス杯について

6月5日(金)の予定で準備進めていたが、集会禁止、多くの参加者が一時退避中等の状況

下、残念ながら春季ラムセス杯を中止する提案をしたい。秋に向けた準備は引き続き行いた

い。

→異議なし。

その他（押谷）

1. 事務局職員(3名)への特別ボーナスについて

臨時便手配にあたり、一斉メール配信より質疑応答含め輪番制で事務局3名にご対応頂いた。　日本人会として特別ボーナスを支給したい

　　　→異議なし。

1. 日本人会HPの活用について

情報発信の為有効活用をしたい。一例は今回の臨時便の経緯、体験談（日本に戻ってから含め）　等。　その他アップデートされていない情報あり。

→原稿につき、総務理事と相談の上、随時アップデート実施する事で合意。

1. 日本人会事務局の再開時期・方法について

書籍、DVD等借りたいという声が一定数ある。全面再開は難しいにしても、例えば週に1,2回等解放できないか。

→総務理事にて事務局員の意向確認実施。検討可能であれば、具体的な再開方法につき会長-総務理事にて協議の上、実施する事で合意。理事会に諮る必要がある事項については、メールで意見徴求。

次回理事会

5月末を予定。総務理事にて日程調整実施。